

アダプトプログラム

の仲間たち

vol. 3

シンセイ建設株式会社



「来た時よりもきれいに」

今回はシンセイ建設株式会社のみなさんの活動を深谷啓治社長に伺いました。

Q. 活動内容は？

A. 毎週月曜日の午前7時40分に行っている朝礼後に、会社及び共長公民館周辺道路の清掃や除草を、現場で働く社員20人ほどで行っています。

この他に、毎年11月第3日曜日にシンセイふれあいフェスティバルを開催して地域の方たちと交流しています。また、大府シティ健康マラソンで給水ポイントの設営ボランティアを地域の方と一緒にしています。

Q. きっかけは？

A. 社員らに働く現場や周辺道路などをきれいにする意識を持って欲しいと思い、15年前から清掃活動を始めました。この活動が、大府市全体をきれいにする一助となれば、大府市のためになると思い行動しています。

Q. 企業として取り組んでみてどうか？

A. 活動している様子を見かけた市民や通勤中の方が、「清掃活動をやっているんだね」「いつもありがとう」と声をかけてくれるようになりました。これは、社員の活動の励みとなっています。

Q. 社員のみなさんの変化は？

A. 地域の方からの温かい声かけのお陰で、社員の意識が変わってきたと思います。これまで以上に、現場をきれいにしようという社員の意識を感じられるようになりました。

また、日常的に注意して周囲を見る能力が高まり、細かい変化に気づけるようになりました。

それに何よりも、地域の美化のお手伝いができているということで、気持ちの面でプラスになり、気分良く1週間をスタートすることができています。

「来た時よりもきれいに」をモットーに、現場の社員や職人さんたちだけでなく、事務所の中で働く社員の意識も変えていけるように、今後もこの活動を続けていきたいと思っています。



■アダプトプログラム（公共施設養子縁組制度）

アダプト(ADOPT)とは、英語で「養子にする」の意味。公共の道路や河川、公園などを養子にみだて、市民がわが子のように愛情を持って清掃美化する活動のこと。大府市では2002年に始まり、現在87団体が活動に取り組んでいます。